仙北市スマートシティ推進コンソーシアム

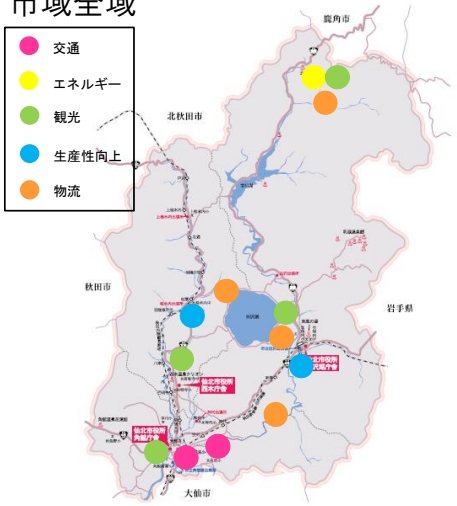
【地方公共団体：仙北市　民間事業者等代表：株式会社フィデア総合研究所】

国土交通省 スマートシティモデル事業
先行モデルプロジェクト

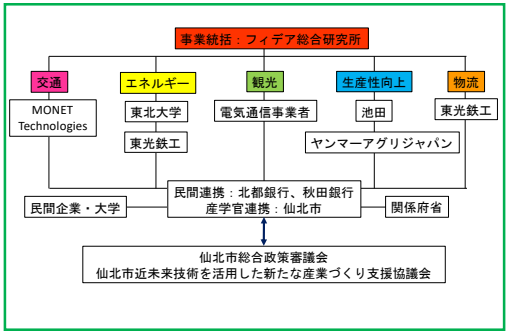
○　仙北市では、生産年齢人口が激減しており、高齢化率も41%に達している。若年層の転出を抑えるためには、基幹産業である農業と観光業の生産性向上が必要であり、高齢社会に対応した交通の確保、山間の地域特性に応じた物流の効率化が課題。
○　AI･ロボット技術等の最先端技術の導入による基幹産業である農業振興や観光振興、産業構造の転換や市民の利便性の確保を図り、グローカル･イノベーションのモデルケースを構築。

◆対象区域

市域全域



◆事業実施体制



◆新技術･データを活用した都市･地域の課題解決の取組

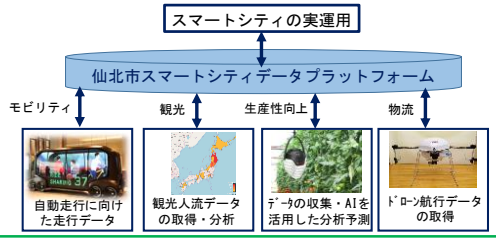
中山間地における移動の確保

・自動走行に不可欠なAIの深層学習のためのデータ取得を先行的に実施し、条件の悪い地方での自動走行技術の課題抽出、無人運転車両内の空間を利用した移動型サービスの実装を検討

出展：E-Palette（TOYOTA）
データ解析及び将来の自動走行イメージ

取組から得られるデータの相互利用

・オープンAPIによるデータ収集・データ利活用を前提に官民でデータを相互利用できる仕組みを構築



ドローンやAIの活用による生産性向上･物流の効率化

・AIを活用した農業の経験知や技能のデータ化や、IoTの活用による遠隔監視、また、ドローンを活用した生育状況把握や病害虫の防除作業の高度化等を図る
・生活物資の配送の効率化を図るため、低密度の集落において、ドローンによる配送の自動化を図る
・温泉水から得られる水素のドローンへの活用を検討

農業IoT実証実験

図書配送実証実験

通過型観光地から滞在型の観光地への発展

・スマートフォンやアプリの使用状況から人流データを分析し、観光戦略を立案
・情報発信によるインバウンド観光の促進

◆2019年度の主な取組

・デマンド型交通システムへの予約･配車システムの実証実験の実施
・物流事業者と連携した物流ドローンや水素生成事業及びドローンへの活用の実証実験の実施